

## 式 辞

「全国すべての小学校、中学校、高等学校、特別支援学校について三月二日から春休みままで臨時休業を行うよう要請する。」

これは、今から六年前の二〇二〇年二月二十七日、当時の首相の言葉。すべての学校が止まった。日本を襲った新型コロナウイルスの脅威。三月だけではなく、四月、五月と学校が休校。いつもなら桜満開の新庄北小学校で夢と希望を膨らませ、来賓、地域の方、そして在校生など、たくさんの人たちにお祝いされるはずだった入学式。それが、各家庭二名までという人数制限、そして、教職員とあなたたちだけの入学式。

そして、六年後の今日、卒業証書授与式。人数制限は全くありません。たくさんの方の保護者の方、そして、葛城市市議会議員吉村始様をはじめ、葛城市教育委員会より森吉文様、また本校を支えていただいている地域のたくさんの方の皆様、本日は

お忙しい中、第四十九回卒業証書授与式にご出席いただき、誠にありがとうございます。今日は私から一つお願いがございます。どうかこの卒業生にあの六年前の入学式の分まで、お祝いをしてあげていただけたらありがとうございます。大きな拍手でも構いません。卒業生に一言お声をかけていただいても構いません。六年前、学校は止まりましたが、成長は止まらず立派に成長し大きくなった卒業生の姿を目に焼き付けていただけたらと思います。

当たり前が当たり前でなくなつたからこそ、ここにいる卒業生には『日常の尊さ』を知る強さや優しさがあると感じます。それを感じた出来事を二つ紹介したいと思います。

一つ目は、生活委員会を中心に「学校安全プロジェクトGAP」を立ち上げ、右側通行や廊下を走らないように廊下の中央にラインテープを貼ったり、安全標語を貼ったペットボトルを置いたりしました。また、スマホ安全教室講座を受け、各学年に合わせた資料「スマタブネットハンドブック」を作成し、全校児童にスマートフォンやタブレット、

インターネットの危険性やアプリには年齢制限があること、フィルタリングの重要性など、グラフや写真を使って分かりやすく伝え、家庭で必要なルールを考えるきっかけづくりを行ったりしました。卒業生がリーダーとなり、後ろにいる四年生と五年生がサポートをして、「日常の安全は自分たちで守る」という子どもたちが主体的に安心・安全な環境づくりを行いました。そのことが評価され、本校はセーフタイププロモーションスクールに認証されました。認証旗、そしてこの認証盾をいただき、新聞にも報道されました。認証旗は昇降口に掲げています。後ほどご覧いただけたらと思います。

二つ目は、私は毎朝ゴミ袋を持って、登校指導と挨拶運動をしています。登校時ゴミを拾って、そつと持って来てくれる子どもたちがいいます。また、地域の方から、休日、ゴミを拾っている小学生がいと聞ききました。それもここにいる子どもたちでした。登校時、校門で自分から大きな声で率先して挨拶をしている子どもたちがいいます。ここにいる卒業生が中心となっていていました。また、登下校時、横断歩道で車に待ってもらったら運転している人に深々とお礼をしている班長がいいます。運転

している人もそのひたむきに責任を果たす姿を見て会釈を返してくれる光景を見ました。それもここにいる卒業生です。「自分たちの地域や学校は自分たちで綺麗にする、良くする」という気持ちで伝わつてきました。

校長先生から卒業生に送りたい言葉があります。それは、「ありがとうございます」です。先日も「ありがとうございます」がありました。現代では感謝を伝える時に使う言葉です。みなさんは、普段「ありがとう」という言葉を何気なく使っているかもしれない。この言葉の語源は『有り難し』。つまり、「有ること」が難しい（めつたにない）」という意味です。振り返ってみてください。あのコロナ禍という困難な時期を経て、今日こうして全員で顔を合わせ、卒業式を迎えられたこと。喧嘩をしても、また明日笑い合える仲間が隣にいること。これらは決して「当たり前前」のことではなく、いくつもの偶然が重なった「有り難い」奇跡なのです。だから…

あなたたちを生んで育て、ここまで育ててくれたすべての保護者の方に「有り難う」。

あなたたちがこの葛城市立新庄北小学校に入  
学してくれて「有り難う」。

あなたたちをあたたく見守ったり、支援した  
りしてくれる地域のすべての人たちに「有り難  
う」。

あなたたちを時には厳しく時には優しく指導  
してくださったすべての先生方に「有り難う」。

そして、私もこの学校で六年間学び卒業して、  
三十九年という月日を経て、あなたたちと出会っ  
て四年間一緒にこの学校で学べたことに「有り難  
う」。

最後に、保護者の皆様、本日はお子様のご卒  
業、誠におめでとうございます。教職員一同、心よ  
りお祝い申し上げます。

小学校六年間、コロナ禍から始まり多くのご苦  
労やご心配があつたことと思いますが、今、小学校  
の課程を無事に修了し、卒業証書を立派に受け  
取ったお子様の成長された姿をご覧になり、慶び  
もひとしおのことと拝察いたします。こうして、卒  
業の日を迎えることができましたのも、保護者の  
皆様の学校に対するご理解とあたたいご支援の

賜です。本当にありがとうございました。心より御礼申し上げます。

後ろの壁面に表彰状を掛けておりますが、今年度、新庄北幼・小PTAは令和七年度優良PTA文部科学大臣表彰をいただきました。奈良県から唯一の表彰です。皆様の子どもたちや葛城市立新庄北小学校へのあたたかいお心、お気持ち が国に認められました。これから、思春期で難しい時期に差し掛かりますが、時にはお子様と真剣に向き合ったり、時にはあたたかく見守ったりし続けていただきますよう、よろしくお願い申し上げます。

新たな一歩を歩み出そうとする卒業生のみなさん、みなさんの輝かしい未来と限りない可能性を祈念して式辞いたします。

令和八年三月十八日

葛城市立新庄北小学校

校長 中川 純一